

SOS 1月7日～12日の間、保護の準備を行いました。

1月13日 13:30～18:30 会員Aさんと二人で、12匹の猫を保護しました。猫の捕獲には、人数は必要ありません。大勢で行くと猫が怖がります。しかし、Aさんのお手並みは素晴らしい。次から次にケージに猫を入れます。車にはケージが3個しか積めないで、私がピストンで保護場所まで運びました。【写真②】



多頭飼いで崩壊の現場に着いて、一番気になっている猫がいました。”ピンクちゃん”です。

痩せた為に首輪が緩くなってしまったのでしょうか。首輪の中に右手を突っ込んでしまい、首輪がタスキのようになっていました。上からでははつきりしませんでした。保護してみるとすごい腐敗臭で、完全に傷が膿んでしまっているのが分かりました。【写真③】



外れる首輪なのに、その部分が肉に食い込んで外れなかったのです……。重い方が下に行くので、金具の方が脇に食い込んだのです。さぞ痛かったでしょう……。いったい何か月この状態で、ピンクちゃんは痛みを耐えていたのでしょうか。大人しく診察されるのは、もう争う元気もないからなのでしょうか……。パッキリと開いた脇の傷口は、5日間の入院と1ヶ月の通院、その後の傷口の縫合手術で綺麗に治りました。



お世話作業は2名1組で行っていますが、たっぷり2時間はかかります。15匹ですから。毎日水はひっくり返すわ、毛布を引っ張り出すわ、砂を撒き散らすわで大変な事になっています。保護場所の倉庫は、ご厚意でお借り出来ましたが、1ヶ月しか借りられません。その先はどうするか?不安はありましたが、不妊と去勢手術は急いで行いました。全員エイズ・白血病ではなかったのが、救いでした。

倉庫を出ないといけなくなった頃、会員さんから空き家を貸してあげるとの話が、舞い込んできました。猫たちは1ヶ月間ケージ生活を余儀なくされましたが、ここでは順番に猫たちを部屋の中で自由にさせる事が出来ました。猫たちもストレスがなくなり、少しずつ人馴れしてくるようになっていきます。【写真④】

SOS 4月19日に初めてSOS猫の里親さがし会を開催しました。【写真⑥】

5月15日現在で里親が決まったのは7匹、予約が2匹、残り6匹が決まっています。しかし空き家はもうすぐ出ないといけなくなりました。どうか行き場のない猫の里親になっていただけないでしょうか。どなたか家族の一員として迎えていただけないでしょうか。年齢は推定2才～8才です。

